

令和5年度第2回神奈川県鳥獣総合対策協議会 サル対策専門部会

開催日時 令和6年3月13日(水)10時00分から11時30分まで
開催場所 ZoomによるWEB会議
出席者 ◎小池 伸介、広谷 浩子、安富 舞、小島 望、白井 範雄、山下 博規、木村 昌史、小倉 友貴(岡部委員の代理)、有馬 真一、○中原 正貴、天野 勝彦、池谷 栄(齋藤委員の代理)
(◎部会長、○副部会長)
委員 15人中12人出席(過半数)により会議は成立

会議の経過は次のとおりです。

1 開会

自然環境保全課 野生生物グループ 小川グループリーダー

2 あいさつ

自然環境保全課 永田副課長

本日は、お忙しいところありがとうございます。本来であれば課長の羽太からご挨拶申し上げますところですが、急遽、議会対応が入ってしまったため、私からご挨拶申し上げます。

日頃よりニホンザルの管理をはじめ、自然環境保全行政にご協力いただき、感謝申し上げます。

昨年度、専門部会の皆様にご議論いただき策定しました第5次神奈川県ニホンザル管理計画に基づき、今年度から管理事業を進めているところです。本日は、今年度のこれまでのところの取組状況についてご報告し、令和6年度の事業実施計画の素案についてご意見をいただきたいと考えています。特に今年度は計画策定後の1年目という時期にあたりますので、新たな取組が少しずつ動き出したところです。

そういった事業の実施状況についても説明させていただきたいと考えています。

なお、サルの管理事業は、ここ数週間の間に進んでいる事項もありますので、配布資料の内容から状況が変わっていることもあります。その辺は説明の中でお伝えしていきたいと思います。今後の流れですが、今日の専門部会でのご議論を踏まえて、3月28日に予定している鳥獣総合対策協議会で事業実施計画案をお諮りし、策定のうへ、令和6年度の事業をスタートさせたいと考えています。

限られた時間ではございますが、ぜひ忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。よろしく申し上げます。

3 議題（令和6年度ニホンザル管理事業実施計画（案）について）

(1) 令和5年度の事業実施状況

（資料2に沿って事務局より説明）

（質疑）

○委員1：14ページの地域個体群の農業被害について、農業者からの報告をベースに算出したという事ですが、もう少し詳細を教えてください。どういう農業者からの報告をどういう計算でということをお委員の皆さんにもわかりやすく説明していただけませんか。

○事務局：毎年、農業被害については県が各農協からデータをいただいております。農協は各農業者から被害を取りまとめています。これはサルだけではなくて全鳥獣、かつ全ての作物に関してどれだけ被害があったかを取りまとめ、そこから各地域の面積ですとか、その各々の作物の単価から計算し、この被害金額と面積を集計しているという状況です。基本的には全地域で四半期ごとに把握し、取りまとめています。

○委員1：ありがとうございます。確認しておきたいのですが、他の鳥獣による被害も取りまとめており、サルと特定できたものと、サルの疑いのものも入っているのですよね。よく分からないものがサルの報告に含まれていたり、ごっちゃにされていたりという話をよく聞くので、やはり報告をベースにしており必ずしも被害を忠実に反映したものではない、ということをもう少し書いていただければと思います。

表の下の注釈にでも、あくまでも参考程度にしかならないデータなので、例えば年度ごとに減っている・増えていると言っても専門の人が調べ歩いてデータを集めているわけではなく、ばらつきがどうしても出てしまうと思うので、参考程度にという言葉は弱すぎるかもしれないですが、言葉をちょっと付け足していただかないと、これが全部サルの被害で、きちんとした算出した、適切な科学的なデータであるという感じに受けられると、少し違うかなと思うので、確認をさせていただきたくてお話ししました。

○事務局：確かにデータをどのように取得したかという記載がないので、注釈にあくまで農業者の報告によるものであるという注釈を入れさせていただきたいと思います。

データの正確性に関しては、この調査は農水省が行っているもので、国の施策等にも活かされる農業被害の数値を出している手続きの一部です。なので、なるべく正確に、他の鳥獣による被害と勘違いしないよう、かながわ鳥獣被害対策支援センター等から農業者等に対して、こういった被害があったらこれはサルですとか、これはアライグマですとか、しっかり指導してなるべく間違いのないようにデータを取得しています。

これは県・国の施策等に生かされていく、1番基本的なデータの1つになっていますので、「参考に」というほど弱いものではないと考えています。

○委員1：ありがとうございます。先ほどおっしゃったように、一筆だけ書いていただければ幸いです。

- 委員1：人身被害の表について、人身被害が減った理由はどう風に分析されていますか。
きちんと考察したものでなくてもいいので、どういう取組が功を奏したのか等、感想程度でも構わないので、お聞かせ願えればと思います。
- 事務局：人身被害については、西湘地域個体群の人身被害の減少が大きいです。中でも特にH群、これは「管理困難な群れ」として県では唯一登録している群れですが、この捕獲が進捗し、もう全頭が捕獲されたと考えられる状況になっており、それが1番大きいと考えています。
- 委員1：わかりました。ありがとうございます。
- 委員2：人身被害については、本市においても定義は難しい部分もありますが、例えば数人の児童が威嚇をされたとか女性が追い回されたとか、そういった事例があります。
ここに報告されている人身被害の具体的なシチュエーション、威嚇を超えた、例えば物理的に危害を加えられたとか、そういったところがもしあれば、差し支えない範囲で教えていただけますか。
- 事務局：集計のデータを確認する必要がありますので、後ほど情報提供させていただきたいと思います。
- 委員3：今回はこれで良いかと思いますが、今年、非常に労力を割いて参考資料2のように、群れごとに詳細な状況をまとめていただいています。しかし、事務局からの説明で延々と半分以上の時間を個体数調整の数の話をされてしまうと、個体数だけコントロールすれば被害が減るかのようなメッセージになってしまいかねません。これは前から言っていることです。
やはり大事なのは、この表7、表8、表9の被害がどう減って、変わっていったかで、これに対してどういう対策をしたかです。最初から個体数の話を延々とされてしまうと、個体数を減らさないから被害が減らないとか、個体数が増えたから被害が増えたかのように聞こえてしまいますが、16ページ以降の例えば令和6年度の事業実施計画を見ると、色々な対策をしていく中の1つとして個体数調整の話があるわけですね。
本来であれば、集落環境整備をどのように、どの程度の規模で行ったとか、侵入防止柵をどれぐらい設置したかといった対策も大事なので、個体数や捕獲がどうというところを重視しないようなバランスを意識した説明にしないと、非常に色々な対策をやっているのに全然伝わらないので、来年以降気を付けていただきたいというのが個人的な意見です。
- 事務局：県でも被害防止対策が優先するものだと捉えており、第5次神奈川県ニホンザル管理計画の中でも、今回からは被害防止対策を先に出して、あくまで個体数調整はその後にするという形で順番を変えています。ただ、今回の実施計画の説明では個体数調整の関係が多かったため、今後表現方法や記載のボリューム、説明のしかた等考えていきたいと思っています。
- 委員3：はい、お願いします。

○委員1：私も委員3と同じ意見で、ただ単に個体数を減らしたことが直接人身被害や農業被害の減少に繋がったという安易なものでなく、追い上げとか、うまくいっているかどうかは別として、色々な防除対策で減ったという説明にしないと単純に個体数を減らしたから被害も減ったということならこの委員会の意味もないですし、そういった分析を充実させていただきたいと私からも要望します。

○委員3：これはコメントということによろしいですか。

○委員1：はい。

○事務局：先ほど委員2よりご質問いただいた、人身被害の内容について説明いたします。いくつか事例ありますが、例えば、H群に追われて転倒して怪我をしたとか、車から動画を撮影していたところ威嚇されたとか、実際の怪我のあるなしだけでなく、威嚇されて危険を感じた程度のもも含めて人身被害として計上しています。

(2) 議論のポイント1 群れ管理の方向性

(資料1～3に沿って事務局より説明)

(質疑) なし

(3) 議論のポイント2 個体数調整に用いる捕獲方法

(資料1～2及び資料4に沿って事務局より説明)

(質疑) なし

(4) 議論のポイント3 餌付けに関する状況調査及び対策

(資料1～2及び参考資料3に沿って事務局より説明)

(質疑)

○委員3：この部会としてポスターを出すということを審議するということですか。

○事務局：今後、できれば部会として出していきたいので、まずはこの場で気づいたところは言っただき、今後、きちんと部会の中で諮って、ポスターとして仕上げていきたいという趣旨です。

○委員3：では、今日は決めなくてもいいということによろしいですか。

○事務局：今回ポスターの内容を決める趣旨ではありません。

○委員1：事務局の説明で、元凶の拳銃のイラストがショッキングに見えるという内容がありました。しかし、餌付けをする殆どの人々の理由が「餌がなくて可哀そう」というものなので、餌をあげたことで相手の命を奪ってしまう可能性があるという、一目見て「えっ」と思わせるようなものの方が良いと思います。そういう目的であえてショッキングな拳銃のイラストを入れているので、その下の、拳銃のイラスト部分を「駆除の対象になる場合も」という文字にしたものだと、もう「駆除の対象になる」と言い切る以上のものではないと、ポスターとしての用を成さないのではないかと思います。それを念頭に入れてい

ただいて、ご意見をいただきたいです。

- 委員 3：私も個人的には委員 1 の意見に賛成で、やはり多くの餌付けは正しい情報がない中での善意として行われていることが多いですので、ショックというかインパクトがある方がいいのではと思います。
- 委員 3：今後、部会としてこのポスターを検討していくことについても何か意見等あればお願いします。
(意見なし)

(5) 議論のポイント 4 追い上げに関する状況調査

(資料 1～2 及び参考資料 4 に沿って事務局より説明)

(質疑)

- 委員 3：事務局から話があったように、これは今の状況ですので、これを元に、何が課題であるかとか、各市町村が望んでいること等、情報共有や今後の展開に結びつけていただければと思います。

(6) 令和 6 年度の事業実施計画及び策定スケジュール

(資料 2 及び資料 5 に沿って事務局より説明)

(質疑) なし

- 委員 3：では、本日は委員の皆様からの様々なご意見をいただきましたので、これらの意見を十分踏まえ、ニホンザル管理の取組を進めていただきたいと思います。事務局にお返しします。
- 事務局：ありがとうございます。本日いただいたご意見を基に、3 月 28 日開催の鳥獣総合対策協議会で実施事業実施計画案について諮らせていただきます。
また、課長が見えましたので、一言ご挨拶させていただきます。
- 事務局 (自然環境保全課 羽太課長)：自然環境保全課長の羽太です。本日は部会の開始に遅れてしまい大変申し訳ございません。

お忙しい中、貴重な時間をいただき、様々なご意見をいただきありがとうございます

第 5 次神奈川県ニホンザル管理計画のポイントは、サルの群れの加害性を引き下げること、そのために手を尽くすことであると考えております。このために、基本的な被害防除対策をしっかりと行うとともに、今日説明したような餌付けの防止に向けた具体的な行動を起こすこと、また、追い上げについて地域にとっても納得いく実効性ある取組になるように分析・整理した上で、さらに前へ進めていくということだと思います。

ご指摘のありました、資料の作りですとか、説明の仕方 1 つとっても、こういった点を強く意識しながら、意見を交わし、説明し、進めていく必要があると考えています。

サル対策は非常に難しく、今後も試行錯誤が続くと思いますが、引き続きご指導とアド

バイス、また一緒に行っていただける部分については協働作業をぜひお願いしたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひします。

本日は大変ありがとうございました。

事務局：それでは、以上を持ちまして本日のサル対策専門部会を閉会させていただきます。

本日は大変ありがとうございました。